

歴史散歩

Vol.2

霧島市内に点在する文化財を、シリーズで紹介するコーナーです。今回は隼人町の史跡を紹介します。

『国指定史跡 隼人塚』

所在地：霧島市隼人町内山田地区

隼人塚は、奈良時代の養老四年（七二〇年）に反乱を起こし、大和朝廷の軍隊によって殺された隼人族の霊を慰めるために建



立された供養の塔と云い伝えられています。大正十年三月三日に国の史跡に指定されました。石造五重塔三基を石造四天王像が取り囲んでいる隼人塚の形態は、国内で類例が見られず、貴重な物とされています。平成十年から十二年にかけて石塔・石像の復元、史跡公園の整備が行われ、多くの見学者が訪れています。史跡公園の一角には、クマソ・隼人の歴史や隼人塚の由来を紹介したガイダンス施設、隼人塚史跡館が建っています。

『市指定史跡 菅原神社磨崖仏』

所在地：霧島市隼人町松永地区

医師会医療センターに近い菅原神社の崖に約四十数体の仏像が刻まれています。磨崖仏とは、崖や岩などに彫られた仏像あるいは梵字などをいいます。菅原神社の磨崖仏の特徴は、「十三仏」があること。



「十三仏」とは、初七日から三十三回忌までの十三回の忌日毎に礼拝し、故人の供養を司る十三体の仏をいいます。これを一まとめにして、生きていこうちに供養すれば、極楽往生間違いなしと信じられ、室町時代から十三仏信仰が盛んになったといわれています。菅原神社の磨崖仏には、「慶長四年」（一五九九年）の年号があり、今から約四百年前に造られたことが分ります。

平成17年12月27日

発行／霧島市役所 〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 TEL0995-45-5111(代表)
ホームページアドレス <http://www.city-kirishima.jp> メールアドレス info@city-kirishima.jp

編集／広報広聴課 TEL0995-64-0955
FAX0995-64-0934